

ANAグループは、2007年4月にCSR推進室を新設して、グループを挙げて社会、環境との持続的な共生への取り組みを通じた企業価値の一層の向上に努めています。

CSRの基本的な考え方

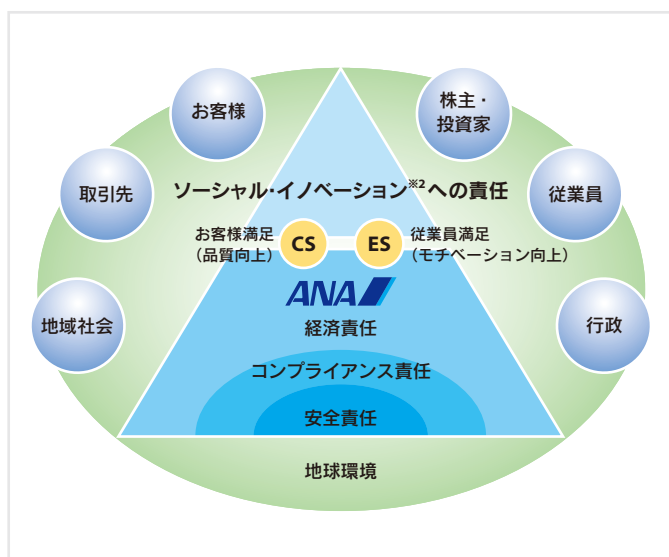
ANAグループにかかわりのあるステークホルダーは、お客様、株主・投資家、取引先、地域社会など、さまざまです。ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを通じて、社会との共生を図りつつ、企業価値を向上させ、ステークホルダーの皆様に対する責任を果たしていくことが、ANAグループのCSRの基本です。

ANAグループでは、役職員一人ひとりが「ANAグループ理念」を実現するために安全責任を中核として行動し、ステークホルダーの皆様へ安心をお届けし、信頼を得ることができるようにCSRを実践しています。

- 1.安全責任、コンプライアンス責任を果たすことを通じて経済責任※1を果たす（ベースライン）。
- 2.品質向上と従業員価値の増大を図るため、CS（Customer Satisfaction=顧客満足）とES（Employee Satisfaction=従業員満足）を向上させる責任を果たす。
- 3.さらに、社会的課題、環境問題などの解決を通じたソーシャル・イノベーションの責任を果たす。

※1: ここでいう経済責任とは、リスクマネジメントを徹底した有効で効率的な事業運営を行う責任であり、コンプライアンス責任と合わせて内部統制システムの充実を意味しています。

ANAのCSRの考え方



※2: ANAの「ソーシャル・イノベーション(Social Innovation)」: 社会的課題、環境問題などへの解決に向け、ANAが企業の立場から可能な協力・支援を通じて果たす役割

外部からの評価

FTSE4Good Indexの対象銘柄に採用

ANAは、環境保全に向けた積極的な行動、ステークホルダーとの建設的な関係構築、人権擁護に対する取り組み、贈収賄防止に対する取り組みといった社会的責任に関するFTSE4Good Index※3の基準を満たした企業として、2006年9月にFTSE4Good Indexの対象銘柄に採用されました。

※3: FTSE4Good Index: 国際的な社会的責任投資(SRI: Social Responsible Investment)の2大指標の一つ。FTSE社(英国Financial Times社とロンドン証券取引所の合併会社)が世界中の企業を対象にして行う、業績・財務面を超えた企業のパフォーマンスを評価する指標



先進的なサステナブル経営戦略がAAAの評価

環境・社会的側面から世界の2千社を超える企業の格付を行っているイノベスト社(米国)の2006年格付で、ANAは7段階の格付のうち最高ランクであるAAA(トリプルA)の評価を受けました。2006年に評価を受けた航空業16社のうち、最高ランクAAAを受けたのは4社のみで、先進的なサステナブル経営戦略が評価され、アジア・米国地域ではNo.1の評価を受けています。



イノベスト社 2006年格付(抜粋)

環境保全活動

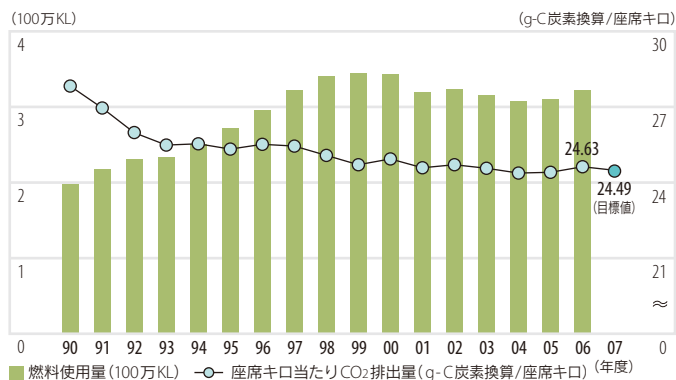
ANAは「人と地球を考える」をモットーに社員一人ひとりの環境意識を高めるとともに、環境保全活動を実施しています。環境理念を基に「ANAエコロジープラン2003－2007」を策定し、環境コンプライアンスから植林活動までの幅広い分野で環境経営に取り組んでいます。

地球温暖化対策

「エコロジープラン」の中核となる地球温暖化対策では「2008年3月期の座席キロ当たりCO₂排出量を1991年3月期と比べ12%削減する」という目標を掲げ、目標達成に向けて種々の活動を行ってきました。

2007年3月期にANAグループの航空機が排出したCO₂は811万トンとなり、事業規模の拡大により前期に比べ4.4%増加しました。単位生産量である座席キロ当たりのCO₂排出量は24.63 g・C（炭素換算）となり、前期に比べ若干高くなっていますが、基準年である1991年3月期に比べ約12%低いレベルを維持しています。

燃料使用量と座席キロ当たりCO₂排出量の推移



社会貢献活動

ANAグループの活動は、地域・社会と密接な関係を持っています。ANAグループは、地域や社会に広く貢献しています。

すずらん行事

2006年6月9日、ANAグループの客室乗務員や各空港の地上スタッフが日本赤十字社医療センターをはじめとした全国52カ所の病院などを訪問し、入院されている患者の皆様に千歳空港

近郊に咲くすずらんの「押し花のしおり」をお届けしました。

白く可憐な花、すずらんのプレゼントは1956年から続けているもので、患者の皆様や病院関係者の皆様に毎年ご好評を頂いています。

心をこめて作成したしおり

すずらんの押し花のしおり贈呈



麻田'sメモリアルフライト

2006年4月21日に、子供たちを大空に招待して励ましたいという43年前の麻田正機長の思い※4を受け継ぐANAグループから集まった100名を超えるボランティアスタッフが、西多賀養護学校の生徒の皆さんの夢を乗せた特別機で仙台から山形上空を旋回する50分間の空の旅をプレゼントしました。また、同校でも模擬フライトを演出し、残念ながら空港に来ることができなかった生徒の皆さんにも楽しんでいただきました。

※4: 詳しくはCSRレポート2005の29ページをご覧ください。



西多賀養護学校の皆さん

